



あのね、
しんがしやえし
いいと思うんだ

kanamoto

カナモトエグザミナー

examiner

株主の皆様ならびに投資家の皆様へ



vol.80

第53期(2017年10月期)第2四半期号

カナモトグループの震災対応：一日も早い復興に向けて

復興の基盤となるインフラ整備・住宅再建の推進に向けて、引き続きグループを挙げた支援に努めてまいります。

東日本大震災の被災地では、基盤となる復興道路・復興支援道路などの交通・物流網の整備や、高上げ造成工事をはじめとする「防災集団移転促進事業（高台移転）」などの住宅再建・復興まちづくりが工事のピークを迎えています。

また、本格的な復興工事が予定されている熊本地震につきましては、(株)ニッケン本社内（福岡県久留米市）に設置した対策本部を

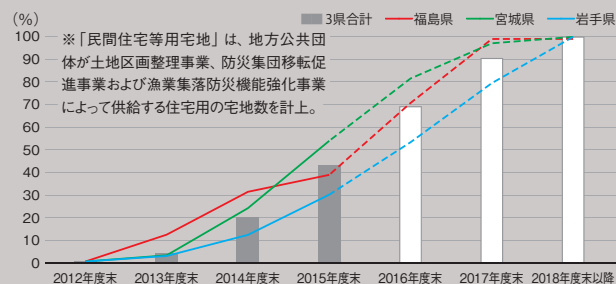
■ 東日本大震災の復興事業の進捗と見通し

ライフライン・インフラ	海岸対策 被災地区海岸数（501）のうち本復旧工事に着工した地区の割合	着工 90%
	交通網 <ul style="list-style-type: none"> ● 相馬福島道路 ● 釜石花巻道路 ● 三陸沿岸道路 ● JR常磐線 	一部開通予定（霊山～相馬間） 全線開通予定 一部開通予定（仙台～釜石間の約9割） 全線開通予定
復興まちづくり	防災集団移転、区画整理等 防災集団移転促進事業での計画決定（大臣同意）地区の割合、民間住宅等用地の供給計画地区数（404地区）、戸数（19,385戸）のうち着工（工事契約）した地区数の割合および完成、見込み戸数の割合	着工 402 地区 完成 61% （11,892戸）
	災害公営住宅 災害公営住宅の供給計画戸数（30,108戸）のうち着手（用地取得）した割合および完成、見込み戸数の割合	着手 98% （29,562戸） 完成 80% （23,846戸）

出所：復興庁資料「東日本大震災からの復興に向けた道のりと見通し（2017年3月）」を基に作成

軸に、グループ企業間の連携強化や経営資源の効率的な配置を行うなど、総力を挙げて対応しております。当社グループは引き続き復興支援に尽力し、社会的責任を果たしてまいります。

■ 民間住宅等用地造成工事完了進捗率



出所：復興庁パンフレット「東日本大震災からの復興の状況と取組（2017年1月）」を基に作成

Photo Report 東北各地で進む復興工事



岩手県陸前高田市の水門工事



岩手県陸前高田市の高台造成工事



岩手県陸前高田市の防潮堤工事



宮城県本吉郡南三陸町の防潮堤工事



宮城県亶理郡山元町の花笠排水路復旧工事



宮城県気仙沼市の赤牛川橋上部工事



宮城県気仙沼市の鹿折川河川災害復旧工事

第53期第2四半期決算の概況 [平成28(2016)年11月1日～平成29(2017)年4月30日まで]

● 連結経営成績 (累計)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)
第53期第2四半期	79,210 (15.4)	9,993 (16.1)	10,242 (24.2)	6,468 (30.2)	183.03
第52期第2四半期	68,642 (0.5)	8,605 (△19.2)	8,246 (△22.6)	4,967 (△23.9)	140.57

● 連結業績予想

第53期通期	155,800 (7.5)	17,130 (13.2)	17,360 (20.5)	10,730 (32.5)	303.63
--------	---------------	---------------	---------------	---------------	--------

(注) 括弧内の数字は、前年同期増減率(%)を示しております。

[経営環境]

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、各種政策の効果もあり、企業業績や雇用・所得環境に改善がみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、中国や新興国の経済減速懸念、英国のEU離脱問題をめぐる欧州情勢、米国の政策運営など、依然として不透明感が強く慎重な姿勢を要求される局面が続きました。

[第2四半期の連結業績]

当社グループが関連する建設業界におきましては、大都市圏における再開発事業など民間設備投資に明るさが見られたことに加え、公共投資も防災・減災分野や社会資本の老朽化に対応する維持・更新需要を中心に底堅く推移しました。

このような状況のなか、当社グループでは継続的発展を目指した長期経営ビジョン「BULL55」(平成27年10月期～平成31年10月期)の諸施策を粛々と遂行しました。高収益確保に向けた保有資産の再配置による効率化や総合的なコスト削減の徹底など引き続き体質改善を進めるとともに、これらの施策を一層確実なものとするために資産の効率的稼働を目的とする新システムの構築へ向けて注力しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は792億10百万円(前年同期比15.4%増)となりました。利益面につきましては、営業利益は99億93百万円(同16.1%増)、経常利益は102億42百万円(同24.2%増)、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は64億68百万円(同30.2%増)となりました。

[セグメント別の業績]

建設関連

当社の主力事業である建設関連におきましては、北海道や九州を中

心に堅調に推移したこと、東京五輪関連工事や首都圏の大規模再開発工事が漸次着工されたことから、建設機械のレンタル需要は底堅く推移しました。特に、昨年発生した熊本地震、鹿児島台風災害、北海道台風災害の復旧活動の支援強化のため、経営資源を集中させると共に拠点を新設するなど継続的な支援体制の構築を進めました。なお、前連結会計年度の第3四半期から(株)ニシケンの業績が連結に加わったことにより、当第2四半期連結累計期間では九州地区の売上高、営業利益ともに大きく増加しました。

中古建機販売につきましては、期初計画に基づき適正な資産構成を目的とした売却を実施しており、売上高につきましては、前年同期比2.5%減となりました。

以上の結果、建設関連事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は720億99百万円(前年同期比12.1%増)、営業利益は92億59百万円(同12.2%増)となりました。

その他

その他の事業につきましては、鉄鋼関連、情報通信関連ともに前年並みの推移に留まりましたが、(株)ニシケンの福祉関連が加わったことから売上高は71億10百万円(前年同期比64.2%増)、営業利益は5億34百万円(同247.3%増)と大きく増加しました。

[事業所数の増減]

当第2四半期連結会計期間における拠点の新設は1拠点、閉鎖は1拠点でありました。

新設：日高機械センター(北海道沙流郡)

閉鎖：津軽ダム営業所(青森県中津軽郡)

■ 連結財務諸表

四半期連結損益計算書(累計)

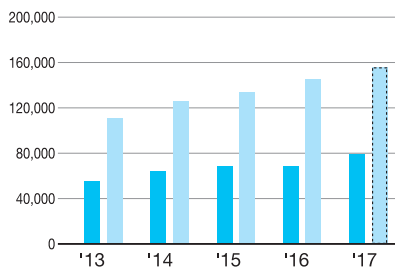
(単位:百万円)	第52期第2四半期 (2015.11.1~2016.4.30)	第53期第2四半期 (2016.11.1~2017.4.30)
① 売上高	68,642	79,210
売上原価	47,388	53,718
売上総利益	21,254	25,492
販売費及び一般管理費	12,649	15,499
② 営業利益	8,605	9,993
営業外収益	234	481
営業外費用	592	231
③ 経常利益	8,246	10,242
特別利益	26	200
特別損失	77	91
税金等調整前四半期純利益	8,195	10,351
法人税、住民税及び事業税	2,940	3,547
法人税等調整額	15	△ 197
四半期純利益	5,239	7,001
非支配株主に帰属する四半期純利益	271	533
④ 親会社株主に帰属する四半期純利益	4,967	6,468

四半期連結包括利益計算書(累計)

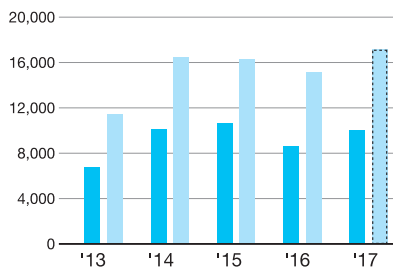
(単位:百万円)	第52期第2四半期 (2015.11.1~2016.4.30)	第53期第2四半期 (2016.11.1~2017.4.30)
四半期純利益	5,239	7,001
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△ 129	93
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	68	△ 41
退職給付に係る調整額	—	△ 0
その他の包括利益合計	△ 60	51
四半期包括利益	5,178	7,053
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,907	6,512
非支配株主に係る四半期包括利益	271	540

■ 第2四半期 ■ 通期 ■ 予想値 単位:百万円

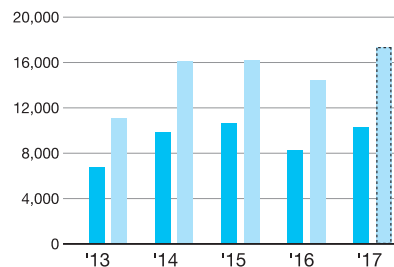
① 売上高



② 営業利益



③ 経常利益



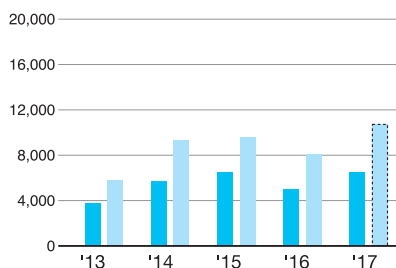
四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)	第52期第2四半期 (2016.4.30)	第53期第2四半期 (2017.4.30)
(資産の部)		
流動資産	88,068	94,064
固定資産	134,753	136,102
有形固定資産	125,459	126,004
無形固定資産	1,096	1,469
投資その他の資産	8,197	8,627
⑤ 資産合計	222,821	230,167
(負債の部)		
流動負債	75,292	74,747
固定負債	69,215	68,015
負債合計	144,508	142,762
(純資産の部)		
株主資本	71,857	79,865
資本金	13,652	13,652
資本剰余金	14,916	14,916
利益剰余金	45,416	53,425
自己株式	△ 2,129	△ 2,129
その他の包括利益累計額	1,930	2,269
その他有価証券評価差額金	1,818	2,138
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	112	123
退職給付に係る調整累計額	—	8
非支配株主持分	4,524	5,269
⑥ 純資産合計	78,313	87,404
負債純資産合計	222,821	230,167

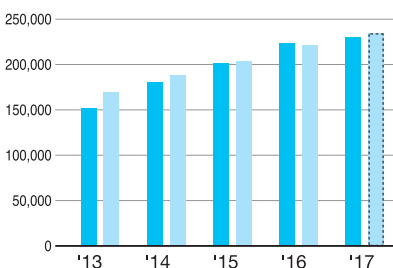
四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	第52期第2四半期 (2015.11.1~2016.4.30)	第53期第2四半期 (2016.11.1~2017.4.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,666	24,114
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,173	△ 1,409
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,200	△ 15,627
現金及び現金同等物に係る換算差額	27	7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	319	7,084
現金及び現金同等物の期首残高	36,150	33,069
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,469	40,154

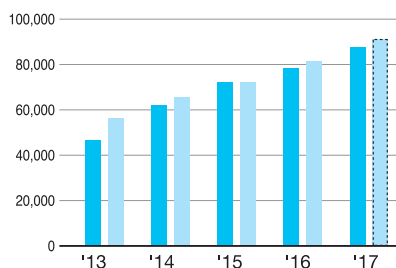
④ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



⑤ 総資産



⑥ 純資産



TOPICS


IR 関係 事業関係 イベント

※今後のスケジュールにつきましては実施予定日を記載

2Q

2017.2


IR ラジオNIKKEI 9都市IRセミナー in 大阪に参加

IR 東証IRフェスタ2017に出展(東京国際フォーラム) 


2017.3

富岡営業所(福島県双葉郡富岡町)をリニューアルオープン

IR 第53期(2017年10月期)第1四半期決算発表

日高機械センター(北海道沙流郡日高町)を開設 

2017.4



入社式・新入社員研修を実施(2017年度の新入社員は64名) 

IR ラジオNIKKEI ジャパンツアーIR in 那覇に参加




3Q

2017.5


サンクスフェア2017:北見、九州建産(福岡)を皮切りにスタート サンクスフェア in 山形を開催 

IR ラジオNIKKEI ジャパンツアーIR in 金沢に参加


関東高所作業車整備センター(千葉市若葉区)を開設 

2017.6



IR 第53期(2017年10月期)第2四半期業績予想の修正について発表

サンクスフェア in 水戸を開催 

IR 第53期(2017年10月期)第2四半期決算発表

飯田営業所(長野県下伊那郡高森町)を開設 

サンクスフェア in 第一機械産業(大隅)を開催

IR 【東京】第53期(2017年10月期)第2四半期決算説明会を実施(機関投資家向け) 富士営業所(静岡県富士市)を開設 

サンクスフェア in 帯広、in 郡山を開催

IR ラジオNIKKEI ジャパンツアーIR in 札幌に参加

サンクスフェア in 高崎を開催

2017.7

サンクスフェア in 苫小牧 7/8(土)

サンクスフェア in カンキ(山崎) 7/16(土)

サンクスフェア in 第一機械産業(奄美) 7/22(土)~23(日)

IR ラジオNIKKEI ジャパンツアーIR in 広島 7/22(土)



とってもいいモノ・読者プレゼント

巻末のアンケートハガキをご返送いただいた方の中から、抽選で50名様に当社のオリジナルノベルティグッズをお贈りします。

今号のプレゼントは、カナモト坊やのスポーツタオルです。ほどよいボリューム感で吸水性もよく、使い勝手の良いサイズなのでスポーツやお風呂などさまざまな用途でお使いいただけます。

ご応募の締め切りは2017年8月4日(金)当日消印有効です。
なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。



会社概要

商号	株式会社力ナモト(英文: Kanamoto Co., Ltd.)
本社	北海道札幌市中央区大通東3丁目1番地19
営業統括本部	東京都港区芝大門1丁目7番地7
設立	1964(昭和39)年10月28日
資本金	136億52百万円(払込済資本金)
上場取引所	東京証券取引所市場第一部・札幌証券取引所
証券コード	9678
発行済株式総数	36,092千株
連結売上高	1,448億70百万円(2016年10月期)
連結従業員数	2,944名(2016年10月31日現在) (役員、嘱託、臨時社員を除く)

株主メモ

事業年度	11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会	毎年 1月中
同総会議決権行使株主確定日	毎年 10月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年 4月30日
期末配当金受領株主確定日	毎年 10月31日

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒100-8212 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
同郵便物送付先及び電話照会先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 電話 0120-232-711

役員 (2017年2月1日現在)

代表取締役会長	金本 寛中	常勤監査役	金本 栄中
代表取締役社長	金本 哲男*		横田 直之
取締役	卯辰 伸人**	監査役	橋本 昭夫
	成田 仁志*		辻 清宏
	金本 龍男*		直井 皖
	平田 政一*		曾我 浩司
	磯野 浩之*	執行役員	熊谷 浩
	長崎 学*		問谷 悟
	麻野 裕一*		北川 健
	棕梨 直樹*		渡部 純
	橋口 和典*		佐藤 信幸
	内藤 進		
	及川 雅之		
	米川 元樹		

(注1) *印の取締役は、執行役員を兼任しております。
(注2) **印の取締役は専務執行役員を兼任しております。
(注3) 取締役内藤進氏及び取締役及川雅之氏、取締役米川元樹氏は社外取締役であります。
(注4) 監査役橋本昭夫氏及び監査役辻清宏氏、監査役直井皖氏並びに監査役曾我浩司氏は社外監査役であります。

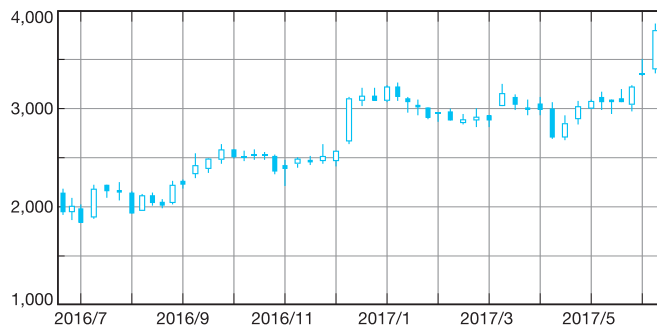
当社公告の掲載につきましては、当社ホームページに掲載いたします。
ホームページのURLは下記のとおりです。
<http://www.kanamoto.co.jp> または <https://www.kanamoto.ne.jp>
なお、やむを得ない事由により、ホームページに公告を掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株式に関する各種お手続きについて

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株価チャート (週足)

単位:円



r100
古紙配合率100%再生紙を使用



本誌は、再生紙と
ベジタブルオイルインキを使用しております。



株式会社 **かなもと**

(東証一部・札証 証券コード9678)

本社

〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1番地19

Tel: (011) 209-1600 (大代表)

営業統括本部

〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目7番地7

Tel: (03) 5408-5600

<http://www.kanamoto.co.jp>